

数値の算出方法(例)

(1) 重要給水施設箇所数（参考図 1）

(a)～(f)より 6 箇所

(2) 管路の耐震適合性を有する重要給水施設

- ・導水管、送水管、配水本管並びに(a), (b), (c), (d), (e)の 5 箇所の重要給水施設に供給する配水支管は耐震適合性があるが、(f)の重要給水施設に供給する配水支管の耐震適合性がない場合(参考図 1)

→5 箇所

- ・導水管、送水管及び配水池から(e)の分岐部分までの配水本管並びに(a), (b), (d), (e)の重要給水施設に供給する配水支管は耐震適合性があるが、(e)の分岐部分～(f)の分岐部分間の配水本管の耐震適合性がない場合(参考図 2)

→4 箇所

- ・配水本管並びに(a), (b), (c), (d), (e)の 5 箇所の重要給水施設に供給する配水支管は耐震適合性があるが、導水管、送水管のいずれかが耐震適合性がない場合(参考図 3)

→5 箇所…配水池から重要給水施設までの場合(ケース a)

→0 箇所…導送水管路も含めた場合(ケース b)

(3) 重要給水施設基幹管路（重要給水施設に至る管路延長）

- ・導水管、送水管、配水本管の管路（延長）。（参考図 3 重要給水施設基幹管路）

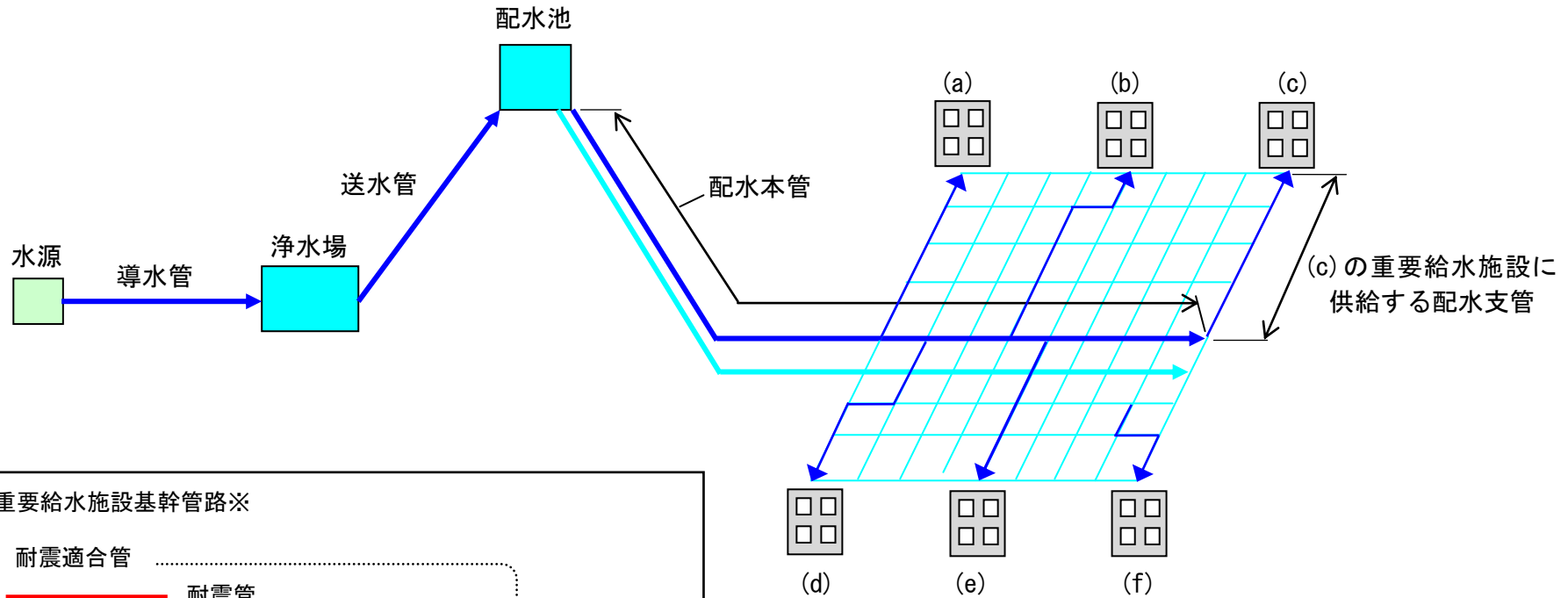
(4) 重要給水施設耐震基幹管路（重要給水施設基幹管路のうち、耐震化済みの延長）

- ・(3)のうち、耐震化済みの管路（延長）（参考図 3 重要給水施設耐震基幹管路）

(5) 重要給水施設耐震適合基幹管路（重要給水施設基幹管路のうち、耐震適合性のある延長）

- ・(3)のうち、耐震適合性のある管路（延長）（参考図 3 重要給水施設耐震適合基幹管路）

数値算出方法（参考図 1）



重要給水施設基幹管路※

耐震適合管

- 耐震管
- 耐震管を除く耐震適合管
- 上記以外の配水本管

重要給水施設配水支管

- 重要給水施設に至る耐震適合性のある配水支管
- 上記以外の配水支管

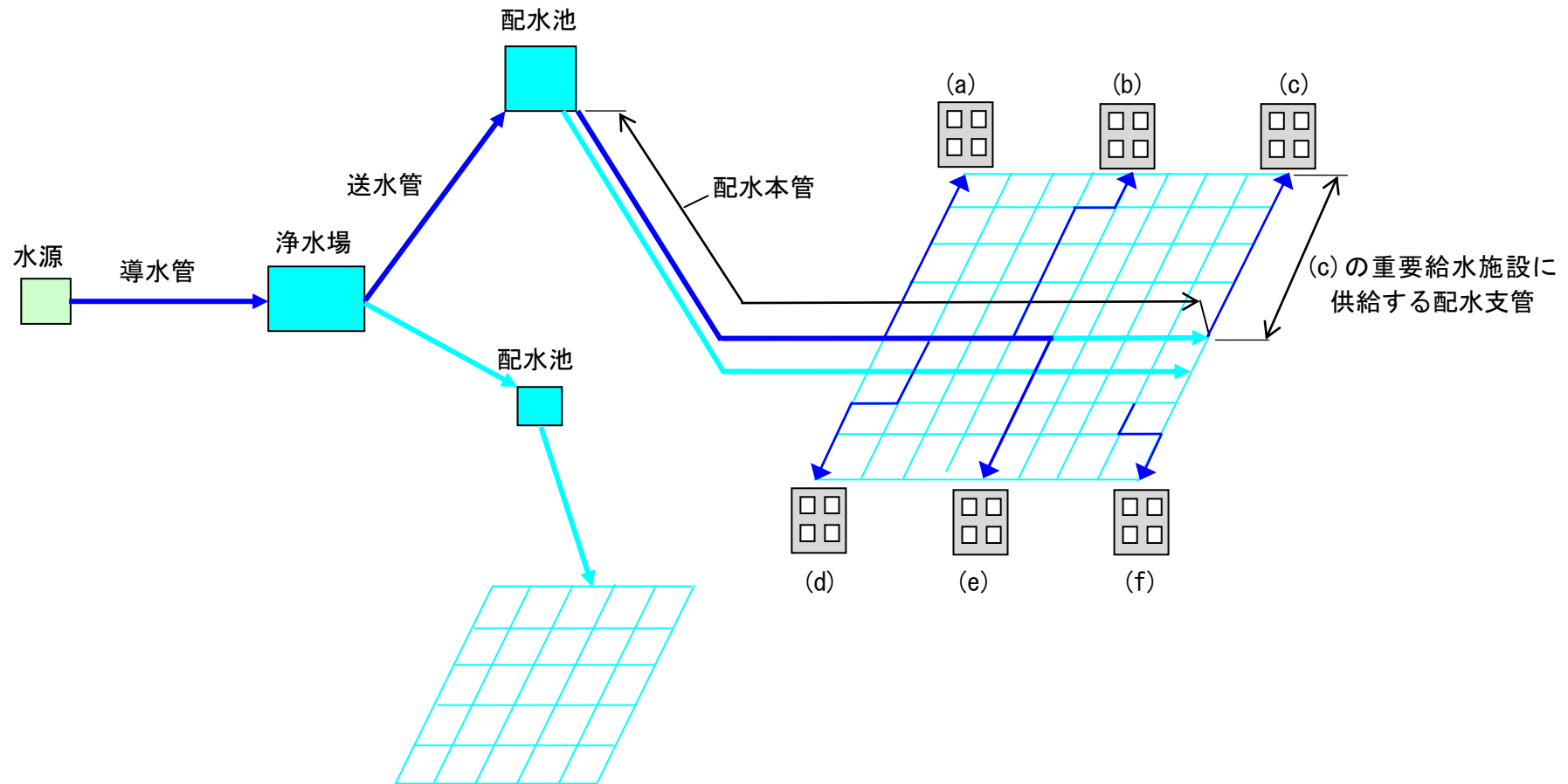
※ルートが複数ある場合は
耐震適合性の高いものを選定



：重要給水施設

〔災害拠点病院、広域避難場所など。〕
地域防災計画等により設定。

数値算出方法（参考図2）



※重要給水施設がない場合は計上しない

数値算出方法（参考図 3）

